

石川の印刷

IPIA

ISHIKAWA PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION

CONTENTS

- 令和3年 年頭挨拶(吉田理事長)
- 石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会
- 中部地区印刷協議会
 - 令和2年度 下期会議開催
 - 分科会・理事長会報告
- DTP技能検定試験
- 印刷関連企業情報
- 「第12回ポスターグランプリ」の募集テーマが決まる
- 令和2年度 第5回理事会
- 今後の予定

発行

石川県印刷工業組合

石川県金沢市玉鉾4丁目160
TEL.076-291-0557

<http://www.ishikawa-pia.jp/>

令和3年(2021年)3月26日発行

NO.

301

令和3年 年頭挨拶

石川県印刷関連団体協議会 会長
(石川県印刷工業組合 理事長)

吉田 克也



新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと、心よりお慶び申し上げます。本日は、石川県印刷関連団体協議会新年互礼会にご参加いただきましたことに、心よりお礼申し上げます。本来であれば、石川県知事 谷本正憲 様、金沢市長 山野之義 様にご祝辞を賜る予定でしたが、昨今の新型コロナウイルス感染状況等を鑑み、書面によるメッセージとさせていただきますことを報告させていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染防止を最優先に会を進めさせていただきます。多少のご不便もあろうかと思いますが、お許しいただければ幸いに存じます。

昨年は、新型コロナウイルスとの闘いの一年といっても言い過ぎではありません。海外でワクチンが実用化されたとはいえ、パンデミックの収束には時間を要することが予想されます。そんな状況では、全日本印刷工業組合連合会の滝澤会長がおっしゃっているように、「コロナ禍による生活様式やビジネススタイルなどの変化で印刷需要の回復が望めないことを前提に、印刷産業は社会経済に合った構造改革が必要」なのは間違いないと思います。そして、滝澤会長は印刷産業に向けて「効率の良いプロダクションによる収益改善」「ソリューションプロバイダーとしての価値の提供」「人材の確保と育成」という3つの方向性を示されています。

一見、何か大変そうに聞こえてしまうかもしれませんが、私は「むしろ地方の印刷会社の好機」につながると思ってい

ます。そもそも、ここに集う皆さんは「ソリューションプロバイダー」という言葉を耳にする前から地域の課題解決に取り組んできましたし、地域における雇用機会の創出と人材の育成に貢献するという矜持を持って事業を続けてきた方ばかりだと思います。加えて、大都市圏に比べ市場規模の小さい地方においては、「効率の良いプロダクション」を目指すことは当たり前すぎる事実なのです。

また、日本印刷技術協会の塚田会長は、「不況で売り上げが減少すると企業の使える予算も限られてくるので、気の利いたサービスよりは、本質的なサービスをよりリーズナブルなコストで提供する必要がある」と述べていますが、私たちにとって重要なヒントが隠されている言葉だと思います。

本質的なサービスを提案するためには、お客様の本質を知らなければできませんが、地域に根付いて活動している私たちは、お客様の本質を十分理解してサービスを提供できる立場にあるはずですので、むしろビジネスチャンスが広がると言えるのです。

令和3年が異例づくめの一年だった令和2年の分も含めて2倍良い年になると信じ、ここに集う全員がともに力を合わせ、新しい社会経済構造に適応した「石川の印刷」を作り上げていきましょう。

以上、甚だ簡単ではございますが、新年の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

石川県印刷関連団体協議会 新年互礼会

日時：令和3年1月6日(水) 午後5時開宴

場所：ホテル日航金沢 4階「鶴の間」



コロナ禍の中、互いの連帯と 来る時代に向けての決意を新たに！！

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大が石川県でも静かに広がっている中、感染予防に徹したウイズコロナ環境に対応した新年互礼会を実施した。準備段階から開催に向けては、感染状況を鑑みてギリギリの判断を役員並びに関係者は強いられましたが、実施に向けて強い信念をもって臨んだ。

なお、今回の互礼会では例年ご出席をいただいている、御来賓の方々には大事をとってご欠席いただき、石川県知事、金沢市長より祝辞によるご挨拶をいただいた。

また、石川県印刷関連団体協議会の会員も極力密を避けるため、1社2名以内の参加として総数97名の参加となった。会場内では、ひとつの円卓に4名までとして、距離を1m以上開けてのセッティングを行った。司会進行は、今回から北川和也専務理事が行い、開会宣言のち、国家清聴、吉田理事長の年頭の挨拶、司会による祝辞の代読、福島相談役・理事による乾杯、祝電披露(司会)と続き、中締めは、石川県洋紙会を代表して中島雄一郎氏が行った。開会から閉会まで、約1時間と感染防止を意識したスピーディな運営となった。

また、会食については、例年よりも簡略化した内容であったが、参加者からはウイズコロナでのひとつの方法として、概ねご理解を得たと感じている。(事務局)



— 石川県知事 谷本正憲様からのご祝辞(全文) —

石川県印刷関連団体協議会の皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。毎年、新年互礼会にお招きをいただいているところですが、今年は出席することが叶わず、大変残念な思いで



一杯です。

昨年は、新型コロナウイルス感染症一色となった年といっても過言ではありません。この間、県内各地でイベントや行事の中止・延期が相次いだことで、パンフレットやチラシなどの印刷物にも影響が及んでいとお聞きしています。

こうした中、「新しい生活様式」をはじめ、テレワークやオンラインでの商談といった環境の変化に対応され、IT化等の業務の効率化に取り込まれる企業も出てきており、大変心強い限りです。皆様方には、是非、こうした動きを加速させて、印刷業界全体で経営基盤のさらなる強化を図っていただきたいと思っております。

一方、本県がこれまで培ってきた魅力や優位性は新型コロナウイルスによって損なわれるものではなく、東京オリンピック・パラリンピックの開催や、今後の北陸新幹線県内全線開業は、再び本県を活性化させる、いわば起爆剤になるものと期待しているところです。

これらの効果を最大化させるため、引き続き、本県の魅力や財産を磨き上げ、発信していくこととしており、その重要なツールである印刷物に携わる皆様方の果たす役割は益々大きくなっていきます。

皆様方には、引き続き、石川のPRにご協力いただくとともに、それぞれの強み、個性を生かしながら、ビジネスの拡大につなげていただきたいと思います。

最後に、本年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心から祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

— 金沢市長 山野之義様からのご祝辞(全文) —

新年あけましておめでとうございます。貴会におかれましては、日頃から本市地域経済の振興にご尽力いただいていることに深く感謝申し上げます。本年も積極的な活動を通じて、さらなる業界の振興と発展に寄与されることを心から期待しております。

現在、全国で新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、本市としましては、引き続き、市民生活の安心安全の確保や、地域経済の活性化に向けて、全力で取り組んで参りますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。結びに、貴会の今後益々のご発展と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

中部地区 印刷協議会

～令和2年度～ 下期会議開催

日時：令和3年2月19日(金) 14:30～16:30

開催方法：「Zoom」によるリモート会議

出席者：(1) 全印工連

浦久保副会長、鳥原副会長、池尻専務理事、福田常務理事

(2) 地区協各県工組理事長(地区協会長・副会長)

中部地区協会長 岐阜県工組 大洞理事長、愛知県工組 鳥原理事長、酒井副理事長

三重県工組 水谷理事長、富山県工組 東澤専務理事(理事長代理)

石川県工組 吉田理事長

(3) 地区委員長

① 経営革新・マーケティング委員会 (石川工組 今川副委員長)

② 環境・労務委員会 (富山工組 寺田委員長)

③ 組織・共済委員会 (愛知工組 岩瀬委員長)

④ 教育・研修委員会 (岐阜工組 小川委員長)

⑤ 取引公正化委員会 (三重工組 伊藤委員長)

(4) 地区協事務局 愛知県工組 河原専務理事、勝野次長

(5) 地区協各県事務局 岐阜県工組 今井事務員、石川県工組 西川事務局長

◆ 全体会議 ◆ 午後2時30分～

1 開会

中部地区印刷協議会 河原事務局長の司会により開会

2 挨拶

中部地区印刷協議会 大洞正和会長

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で愛知・岐阜にも緊急事態宣言が発出され、中部地区協下期会議は残念ながらzoomによる開催となった。この一年で、社会経済は大きな影響を受けた。ワクチン接種がスタートしたが、まだしばらくはこうした状態が続くし、収束後もコロナ前の社会には戻ることはいわゆるとされている。そうした状況をプラスに捉えて前向きに次の一手を進めていくことが必要である。今日は、そうした話も聞かせてもらえると思う。そのためにも、今日の会議で得た有益な情報を各県工組へ持ち帰りぜひ組合員に伝えてほしい。

全日本印刷工業組合連合会 浦久保康裕副会長

年明けから二度の緊急事態宣言が出された。収束にはかなりの時間がかかると思われる。こうしたなか、各県工組や地区協を支援するため、全印工連から各県工組へ一律10万円、地区協へは1工組当たり10万円の積算で助成金を交付した。また、全印工連では幸せな働き方改革「STEP2～5」のビデオ制作について報告があった。

業の新しい姿を模索しDX事業を進めるなど、印刷産業を持続的に発展させハッピーインダストリーの実現に向けて事業を進めていく。

3 全印工連事業概況の説明

全印工連 池尻淳一 専務理事

新型コロナウイルス感染への対応として、地区協下期会議、地区委員会のリモート開催の運営方針、各県工組や地区協への運営助成金、各種セミナーの無料配信の説明がされた。また、官公需対策に関わる事項として官公需取引に関する調査で再生紙の調達に困難であるという結果が判明し、これを受けて国へ「再生紙が入手困難な場合は代替品を認める」ことなど要望書を出した。また国等の契約の基本方針への提案として、知的財産、適切な予定価格、総合評価落札方式の活用、分離・分割発注などの提案について説明された。そのほか、延期となっていた「大喜利印刷店(展)の開催、幸せな働き方改革「STEP2～5」のビデオ制作について報告があった。

4 DX(デジタルトランスフォーメーション)事業の推進

全印工連 福田浩志 常務理事

DXは単にデジタル化を目的とするものではなく、デジタル技術を使って産業構造を変えていこうというものである。印刷産業は、メディアの多様化、過剰設備による供給過剰、更に生産人口減少、経営者の高齢期による後継者不足により、低生産性・高コスト体質から脱却で

きていない。こうした課題に対する対策として、これまでソリューションプロバイダーへの進化により請負製造業からの脱却を図る提案、働き方改革による仕事の魅力づくり、労働環境の整備、事業継承支援事業、業界として社会的信頼の向上を目指したCSR事業などに取り組んできた。そこで、今回印刷産業全体としての生産性向上を図る目的で、このDX事業を立ち上げた。これは、印刷産業の付加価値額を増大させ情報サービス産業へと構造改革を目指すものである。そのためには、小規模サービス・製造併用型の企業を、小規模サービスに移行させ、製造は大規模高生産能力型の企業に任せ、産業全体としての生産性を向上させ、付加価値額を高めることが必要である。そこで、デジタル・IoT技術を活用して、効率の良い生産システムを構築し、各社の収益性向上を図るのが狙いである。

事業の全体計画は、2020年度に印刷DX推進プロジェクト第1期として、試行に必要なシステムの構築が完成し、検査も終わった。2021年度～2022年度に全国10か所のモデル地区、1地区10社程度で試行、2023年度以降の本稼働を目指している。このDXのシステムは、一部で誤解があるような受発注をただ効率化させるだけの印刷通販とは異なり、このグループに参加する企業同士のビジネスアライアンスである。サービスプロバイターの企業、ファクトリーの企業と固定するのではなく、大小様々な業態の印刷会社が、それぞれの強みをシェアする横断的な場となることをDXは目指している。

◆ 分科会・理事長会からの報告の概要 ◆

● 経営革新・マーケティング委員会

(石川工組 今川副委員長)

WEB配信したセミナーの開催内容、参加者状況、アンケート結果の報告の他、事業承継支援センターの取り組み状況、共創ネットワーク通信の配信、CSR認定事業について説明された。

● 環境・労務委員会 (富山工組 寺田委員長)

労務関連セミナーとして、労働法・労働基準法の改正、幸せな働き方改革「STEP2～5」の動画制作、2021年4月からの「36協定」様式の変更、2021年7月発行の「中小印刷業向けモデル就業規則」の制作についての報告のほか、GP認定制度、環境推進工場登録制度をはじめとした、環境マネジメントシステムの制度について説明された。

● 組織・共済委員会 (愛知工組 岩瀬委員長)

生命共済制度、設備共済制度、医療・がん共済の加入状況について、また組合員台帳調査の全国平均提出率が前回の77.8%を上回る80.3%であったことが報告された。また、令和3年度の共済加入促進キャンペーンにつ

いて、中部地区の重点工組は、三重・石川であること、新たにスタートする介護共済などについて説明された。

● 教育・研修委員会 (岐阜工組 小川委員長)

2020年度の特別ライセンスプログラムの各地区の目標と実績、技能検定「プリプレス職種DTP作業」の受検者数、IT人材育成に向けた教育動画チャンネルの構築については、チャンネル名が印カレであると報告された。また、印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験、総合求人サイト「イーアイデム」組合員向け特別プランについて説明された。

● 取引公正化委員会 (三重工組 伊藤委員長)

官公需契約での知的財産権の取り扱いについて、令和2年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針で、新たに講ずる措置として、「知的財産権の全部または一部を譲り受けず受注者に帰属させるコンテンツ版バイ・ドールの積極的活用」が掲げられ、これらの周知啓発を行っていることが報告された。また、令和3年度の同基本方針で知的財産権、適切な予定価格総合評価落札方式の活用、分離・分割発注などの提案について説明された。その他、官公需対策協議会が企画運営する知的財産権セミナーの活用、中企庁の委託により三菱UFJリサーチによるインタビュー調査で、三重県工組の知的財産権の取扱について説明された。

※なお、上記の委員会は、後日Zoomによる個別の会議がそれぞれに実施されました。

● 意見・質疑・補足説明等

● 全印工連 池尻専務理事より

JPPS及び環境推進工場登録制度は、次年度リモートで開催できるよう準備を進めている。

IT人材育成の教育動画は、今までのテレビ会議方式から、より使い勝手の良いYou Tubeで実施する。

● 全印工連 福田常務理事より

DX事業は、全国10のモデル地区で試行を実施する。すでに2地区で実施の方向で動き出している。ぜひ実施しようという企業グループをご紹介願いたい。

● 閉会挨拶 (東澤善樹富山県印刷工業組合専務理事)

コロナ禍で経済は大きな影響を受け、7割経済に順応しなくてはならなかった。

一方では、会議やセミナーが便利なZOOMの活用が普通のこととなった。これからは、こうした新しい形が進んでいくのだろう。しかし、次回6月4日富山県で予定している令和3年度地区協上期会議は、ぜひリアルで開催できることを願っている。

皆様のお越しをお待ちしている。

【国家検定】DTP 技能検定試験

【令和2年度 (後期)】
技能検定 プリプレス職種 DTP作業

コロナ禍の中、感染対策を万全にして実技試験を実施

■「DTP技能研修会」の開催

日時：令和2年12月3日(木)
場所：石川県印刷会館 2階会議室
講師：有賀 誠氏
(全印工連特別顧問、東京工芸大学非常勤講師)
参加者：7社9名

■合格発表

日時：令和3年3月19日(金)
場所：石川県商工労働部企画課



※今年度も「石川県DTP技能検定 検定員分科会」を中心に実技試験の運営が行われた。組合のDTP技能検定運営委員会は、検定員が的確に検定業務を行えるように環境の整備と運営の総合支援を行った。特に今回は、各実技試験会場の他、受験者、検定員、補佐員、運営委員ともに、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策に注意を払った。

■「実技試験」の実施

日時：令和3年1月24日(日)
場所：(株)笠間製本印刷 [Windows]
高桑美術印刷(株)、田中昭文堂印刷(株) [Mac OS]
受験者：1級5名、2級6名 (内 Windows 1級1名、2級1名)

■「学科試験」の実施

日時：令和3年2月7日(日)
場所：石川県地場産業振興センター本館
受験者：1級6名、2級4名

大喜利印刷プロダクトの展示会 「大喜利印刷店 (展)」開催

日時：4月8日(木)～4月11日(日)
場所：東京・渋谷キューズ

■「大喜利印刷店 (展)」オンライン予約

※事前に、ご希望の入場日・時間帯の入場チケット(無料)のお申込みが必要です。
<https://oogiri-insatsu-ten.peatix.com>

■「大喜利印刷店 (展)」配信イベント

※リアルタイムでご視聴できない場合は、アーカイブでの動画配信も予定しています。
<https://oogiri-insatsu-ten-event.peatix.com>



24時間ご利用いただける Web アプリケーション
キングをもっと身近に。
インストール不要！当社ホームページよりご利用いただけます。



商品コーディネーター

封筒のサイズ、紙質、厚み、用途などから検索できるアプリケーションです。



デジタルカタログ

カレンダー、年賀状、領収書、賞状、ノベルティグッズなど、スマホからもご覧いただける、便利なデジタルカタログです。



既製品 WEB 発注

別注封筒見積 コーディネーター

文例集、テンプレート ダウンロード

印刷データ入稿システム

キング封筒

株式会社キングコーポレーション

全国15拠点をサポート!

金沢支店 / 〒921-8027 石川県金沢市神田1丁目4番10号 TEL:076-242-3294

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL:052-961-7661



「第12回ポスターグランプリ」の 募集テーマが決まる！

今年は「**縁**」

対象 ポスター ビジュアル、キャッチコピーを含む作品

テーマ 「縁」 幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター
(ビジュアル・キャッチコピーを含む作品)を募集します。

募集期間 令和3年8月23日(月)～9月4日(土)12時 愛知県印刷工業組合に必着

募集資格 愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県在住、または同5県の会社、大学(大学院、短期大学を含む)、専門学校、高等学校(高等専門学校を含む)に在籍をしている個人

募集部門 ・一般の部(プロ・アマ不問) ・大学生、専門学校の部 ・高校生の部

募集作品 未発表の作品、一人1点、印刷可能なものに限る
電磁媒体(CG)または、手描きによるもの、色彩表現は自由

サイズ ・一般の部 ・大学生、専門学校の部…B1判、縦型、発砲パネル貼り仕立て
・高校生の部…B2判、縦型、発砲パネル貼り仕立て

※発砲パネルの厚さは15mm以内。作品が剥がれないよう、しっかり張り付けて提出。

出品料 無料

提出方法 所定の応募用紙に勤務先または、所属学校名、氏名、作品のコンセプト等、必要事項を記入し、応募用紙に記載の案内に従って提出してください。(送付、持込可)

※石川県からの作品応募については、石川県印刷工業組合にお問い合わせください。

愛知県・岐阜県・三重県・石川県・富山県印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合では、第12回ポスターグランプリコンペティションを実施いたします。将来のグラフィックデザイン業界を担う学生、生徒及び一般のデザイナーを対象に作品を募集します。印刷産業界とデザイン関連業界のさらなる発展を目指してまいります。多くのご応募をお待ちしています。

グランプリ 1名(賞金10万)、優秀賞 6名(賞金2万円)、特別賞 13名(ギフトカード5千円分)、協賛会社賞 若干名(ギフトカード5千円分)他、「入賞・入選作品集」を贈呈します。

問合せ先

石川県印刷工業組合 事務局
ポスターグランプリ係 まで

〒921-8002 石川県金沢市玉鉾4-160

TEL : 076-291-0557 FAX : 076-291-7812

E-mail : info@ishikawaken-pia.or.jp

◎ 詳しくは、後日配布する「第12回ポスターグランプリ」募集要項をご確認願います。

令和2年度 第5回 理事会

—Web会議—

日時 : 令和2年1月16日(土)午後5時00分～
場所 : 石川県印刷会館 2階会議室
参加者 : 実出席3名、Web出席10名、委任状出席7名
計20名、欠席9名
他オブザーバーWeb出席1名、事務局 実出席1名

議題 : 報告事項
1、全印工連 令和2年度 第3回理事会の報告
2、全印工連臨時総会(書面)について
3、各委員会報告/支部報告
4、令和3年石川県印刷関連団体協議会
新年互礼会の実施報告
5、令和2年度中部地区印刷協議会下期会議の予告
6、その他 令和3年度通常総会の日程と開催場所について

INFORMATION

今後の予定

3月23日(火) 第6回理事会
石川県印刷会館 2階会議室

4月26日(月) 第7回理事会
石川県印刷会館 2階会議室

5月15日(土) 令和3年度通常総会
金沢ニューグランドホテル(仮)

6月4日(金) 令和3年度中部地区印刷協議会
ホテルグランクラス富山

7月上旬 オフセット印刷技能検定(実技試験)
朋友印刷㈱

7月下旬 石川県印刷関連団体協議会 令和3年度通常総会
会場未定

7月～8月中 令和3年度新入社員研修会
会場未定

8月21日(土) 第24回ソフトボール大会
金沢市専光寺ソフトボール場

9月4日(土) 第30回印刷の月ゴルフ大会
金沢ニューグランドホテル(仮)

6月4日(金) 令和3年度中部地区印刷協議会
能登カントリークラブ

※今後の予定について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により当初の予定を変更する場合があります。

SEARCH

<http://www.ishikawa-pia.jp> / E-mail : info@ishikawaken-pia.or.jp

GO